



サンワチャンネル

令和8年1・2月号



↑
過去のサンワチャンネルはこちら



謹賀新年



明けましておめでとうございます。
旧年中は格別なご高配を賜り、まことにありがたく御礼申し上げます。
本年も、より一層のご支援を賜りますよう、職員一同心よりお願い申し上げます。

2026年(令和8年)大河ドラマ

「豊臣兄弟！」

主人公は、天下人豊臣秀吉の弟・豊臣秀長

歴史に if はないものの…『秀長が長生きしていれば豊臣家の天下は安泰だった』とまで言わしめた天下一の補佐役・秀長の目線で戦国時代をダイナミックに描く、夢と希望の下剋上サクセスストーリーー強い絆で天下統一という偉業を成し遂げた豊臣兄弟の物語

豊臣秀長の生涯と人物像

主な功績



内政の整備

大和・紀伊・和泉の統治を担当し、民政や経済の立て直しを行う。特に大和郡山城を中心に城下町を発展させ、経済発展、治安維持に努める。

外交・調整役としての活躍

秀吉の天下統一の過程で、大名たちとの交渉を担当。島津氏との和睦交渉や毛利氏との折衝などが有名。

軍事面

四国攻めでは10万の大軍を率いて成功を収める。

豊臣秀長は、豊臣秀吉の異父弟(同父説もあり)で、1540年(天文9年)誕生。秀吉とは3歳差。

若いころは、木下小一郎と名乗っており、尾張(現・愛知県)の貧しい農家で生まれ育つ。具体的な時期は不明だが、兄秀吉が織田信長に仕えて活躍するようになってから、秀長も信長に仕えるようになった。当初は、秀吉の補佐役として戦場での雑務をこなし、武士としての経験を積む。徐々に軍事・政治の両面で優れた手腕を発揮し、豊臣政権の安定に大きく貢献。

性格は、温厚で誠実であり、秀吉からの信頼も厚く重用されていた。秀吉が時に強引な手法を用いるのに対し、秀長は穏やかで調和を重んじる性格だったため、家臣や諸大名からも信頼が厚かったとされる。

また、豊臣政権内で秀吉に異を唱えて制御することができる貴重な人物でもあった。

豊臣兄弟!のクラクインは、
2025年6月に寒河江市にある瑞宝山
本山慈恩寺にて行われました。



発行元：税理士法人 三和会計事務所